

名家連ニュース

平成30年12月28日(金)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX (052) 846-5576 NO. 574号

「オープンダイアログ」とは＝対話で精神病からの回復を目指す

フィンランド発祥の「オープンダイアログ」と呼ばれる精神療法を紹介します。文字通り「開かれた対話」による治療で、入院や薬剤を極力使用しない点が大きな特徴です。統合失調症やうつ病、引きこもりなどの治療に大きな成果を挙げ、関係者に注目されています。

◇ 対話による症状緩和

オープンダイアログは、患者や家族から連絡を受けた医療チームが24時間以内に訪問し、ミーティングを行いながら症状緩和を目指す療法です。

ミーティングの参加者は患者、家族、医師、看護師、セラピストらで、1回当たりの時間は1時間半程度。参加者全員が平等な立場で、症状が改善するまで毎日行われます。



ミーティングは全員が発言し、医療チームで行われる話し合いもすべて患者さんの前で行います。薬物治療や入院は極力避けますが、必要な場合には患者さんを含めたミーティングで決定します。

オープンダイアログを導入した西ラップランド地方では、統合失調症患者の入院治療期間が平均19日短縮され、通常治療では100%の服薬が必要な患者の割合は35%にとどまった。2年後の調査で症状の再発がない、あるいは軽いものにとどまっていた患者は82% (通常治療50%)、再発率も24% (同71%) と大きな成果があり、世界各国で導入が進んでいます。

◇ 日本での可能性

日本では保険適用外であることや、従来の薬物療法中心の精神病治療の考え方など、国内での普及には大きな壁があります。現在、国内で実施している施設はまだ数カ所だが、[オープンダイアログネットワークジャパン](#) (CTRLキーを押しながらクリック) を中心に普及が進められています。

※共同代表は石原孝二氏、斎藤環氏、高木俊介氏、運営委員は大熊一夫氏、向谷地生良氏、森川すいめい氏はじめ24名、事務局長は時盛昌幸氏で「対話実践のガイドライン」も作成されています。

市内14家族会 家族交流会開催のご案内

【日時】 平成31年1月19日(土) 午後1時30分から4時

【会場】 ホテル「ルブラ王山」(千種区覚王山通8-18)

地下鉄東山線「池下駅」下車2番出口徒歩3分 千種警察署北側

※「家族会に入って良かったこと」「家族会運営の現状と悩みごと」など、家族会及び会員相互の交流と親睦を深め合い、学び合っていきましょう。(堀田 明 名家連会長)